

予 算 要 求 資 料

令和3年度3月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 **新**農地中間管理事業等推進基金積立金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業経営課 担い手対策室 経営体強化育成係 電話番号：058-272-1111(内 2888)

E-mail： c11419@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 112,487千円 (現計予算額： ー 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一般 財源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	112,487	112,487	0	0	0	0	0	0	0
決定額	112,487	112,487	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

担い手の生産性向上や競争力強化のためには、生産基盤である農地について、持続性をもって最大限利用されるようにしていく必要がある。

令和2年度の担い手への農地の集積率は37.8%であり、全国平均58.0%よりも低い状況。

このため、農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積・集約化を加速化する必要がある。

(2) 事業内容

・平成25年度に造成した「農地中間管理事業等推進基金」に追加で基金の積立てを行う。

・基金を充当して実施する事業は以下のとおり。

機構集積協力金交付事業費補助金 (事業主体：市町村)

農地中間管理機構を活用して出し手から地域の農地を幅広く集め、集約化して担い手等へ貸し付ける地域に対し、協力金を交付

(基金の事業期間：令和4年度～令和5年度の2年間)

(3) 県負担・補助率の考え方

国10/10

(4) 類似事業の有無

機構集積協力金交付事業費補助金

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
積立金	112,487	農地中間管理事業等推進基金への積立金
合計	112,487	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・清流の国ぎふ創生総合戦略 3 (3) 農林畜水産業の活性化
- ・ぎふ農業・農村基本計画
第6章1 (1) ①担い手への経営発展の支援強化
- ・岐阜県農業経営基盤強化の促進に関する基本方針
- ・岐阜県農地中間管理事業の推進に関する基本方針

(2) 国・他県の状況

全国において実施される。

(3) 後年度の財政負担

- ・事業の実施期間である令和5年度まで計画的に協力金を交付する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
農地中間管理機構による農地集積・集約化を加速する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
担い手への農地集積率	37.0% (R1)	(-)	(-)	37.8% (R2)	78% (R5)	% 48

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
（令和2年度）
担い手への農地集積に関する事業の説明を市町村、農林事務所担当者を対象に実施。
市町村が策定する「人・農地プラン」に基づき、県・市町村・農業委員会・JAが連携して、受け手となる担い手を明確とし、農地の集積を図った。

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
（令和2年度）
R3年3月末までの担い手への集積面積 累計 20,962ha
農地中間管理機構への農地貸付面積 1,119ha（R2年4月～R3年3月）

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	担い手の経営を発展させるためには、生産基盤である農地について、担い手への農地集積・集約化により、生産コストを削減していく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積・集約化を加速することができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) -	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 出し手から地域の農地を幅広く集めるため、地域の話合いを進めていく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 事業の実施期間である令和5年度まで計画的に協力金を交付する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】